

太陽光発電システムのメンテナンスは、「①・②・③」で行います。



ワン

①発電能力測定

モデル=IVH-1000

ツー

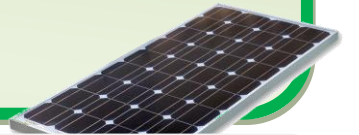
②欠陥モジュール探し

モデル=PVD-10

スリー

③早期不良発見

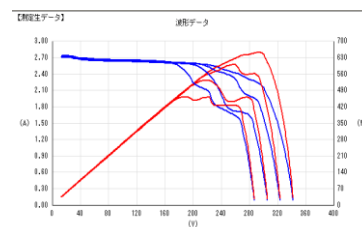
モデル=i3



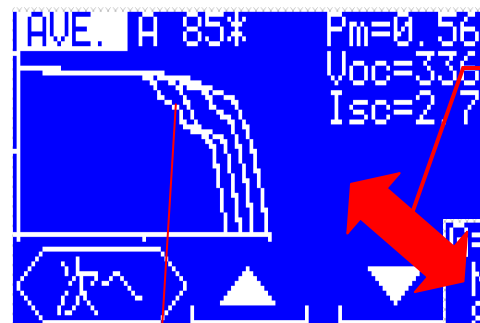
①発電能力測定「最初に発電能力を測定します」

- 天候不問・ストリング比較機能で、不良ストリング発見
- 特性が揃っていれば安心、発電は異常なし
- 発電能力測定器による数値化で顧客も安心「顧客満足度向上」

■管理ソフトで詳細表示



■重ね書き簡単ストリング比較



表示切替ワンタッチ

■リスト表示で不良ストリング発見

No	Pm	Voc	Isc	FF
00	0.56	33.6	2.7	
01	0.65	34.4	2.7	0.70
02	0.60	33.9	2.7	0.65
03	0.57	33.4	2.7	0.59
04	0.46	32.9	2.7	0.51

Pmの不足
異常ストリング

Pmの不足
異常ストリング

(無線式日射計・温度計付きタイプも有ります)

★施工管理ソフト「顧客情報と測定データを一括管理」

- レポートで顧客に安心が伝わります
- データの蓄積が、信頼性につながります

電流-電圧の特性データ

情報や写真レポート

発電量データレポート

パネル・PCSデータ

②欠陥モジュール探し「ストリングから不良モジュールを検索」

- 発電能力が下がった。原因は、何か！ 表面からの目視では分かりません
- モジュールのバスバー電極の上を走査する事で不良場所をピタリと当てます
- ヘッド部が小型で延長棒が細いため影が少なく発電に影響しません

音とアナログレベル表示で簡単検索



本体部

センサーヘッド部



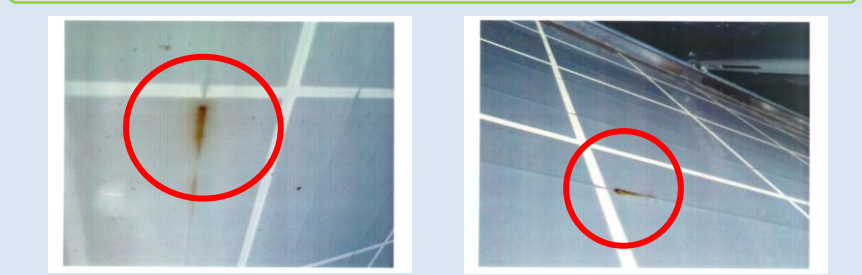
安定測定に必須
「特許出願中」

- ①日射強度補正
- ②地磁気除去機能

モジュール表面から探査中



表面からは、わからない欠陥モジュールも、裏は欠陥場所が目視できます



③早期不良発見「放置すると故障につながる不良を事前に発見」

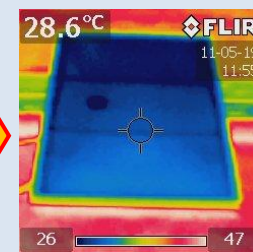
- 早めのホットスポット発見が発電量の維持には必要です
- ホットスポットは、要観察の印です

■異常個所は発熱しています

モジュールをサーモで測定



正常モジュール



異常モジュール



ダイオードの異常

